



E コマンド

この章のコマンドは、Cisco MDS 9000 ファミリのマルチレイヤディレクタおよびファブリック スイッチに対応しています。ここでは、コマンドモードに関係なく、すべてのコマンドがアルファベット順に記載されています。各コマンドの適切なモードを確認するには、「コマンドモード」を参照してください。詳細については、『*Cisco MDS 9000 Family CLI Configuration Guide*』を参照してください。

email-contact

Call Home 機能で電子メールの連絡情報を設定するには、Call Home コンフィギュレーション サブモードで **email-addr** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

email-addr *email-address*

no email-addr *email-address*

シンタックスの説明	<i>email-address</i>	電子メール アドレスを設定します。テキスト サイズ制限のない標準の電子メールアドレスを使用します。
-----------	----------------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	Call Home コンフィギュレーション サブモード
---------	-----------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	なし
------------	----

例 次に、Call Home コンフィギュレーションで電子メールの連絡情報を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# email-contact username@company.com
```

関連コマンド	コマンド	説明
	callhome	Call Home 機能を設定します。
	callhome test	ダミーのテスト メッセージを設定された 1 つまたは複数の宛先へ送信します。
	show callhome	設定された Call Home 情報を表示します。

enable

Call Home 機能をイネーブルにするには、Call Home コンフィギュレーション サブモードで **enable** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、**disable** コマンドを使用します。

enable

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード Call Home コンフィギュレーション サブモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン Call Home 機能をディセーブルにするには、**disable** コマンドを使用します。

例 次に、Call Home 機能をイネーブルにする方法を示します。

```
switch# config terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# callhome
switch(config-callhome)# enable
```

関連コマンド	コマンド	説明
	callhome	Call Home 機能を設定します。
	callhome test	ダミーのテストメッセージを設定された 1 つまたは複数の宛先へ送信します。
	show callhome	設定された Call Home 情報を表示します。

encryption

Internet Key Exchange (IKE) プロトコル ポリシーの暗号化アルゴリズムを設定するには、**encryption** コマンドを使用します。デフォルトの設定に戻すには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
encryption {3des | aes | des}
```

```
no encryption
```

シンタックスの説明	3des	168 ビット DES (3DES)
	aes	128 ビット AES-CBC
	des	56 ビット DES-CBS

デフォルト 3des

コマンドモード IKE ポリシー コンフィギュレーション サブモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**crypto ike enable** コマンドを使用して IKE プロトコルをイネーブルにする必要があります。

例 次に、IKE プロトコルの暗号化アルゴリズムを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# crypto ike domain ipsec
switch(config-ike-ipsec)# policy 1
switch(config-ike-ipsec-policy)# encryption 3des
```

関連コマンド	コマンド	説明
	crypto ike domain ipsec	IKE コンフィギュレーション モードを開始します。
	crypto ike enable	IKE プロトコルをイネーブルにします。
	policy	IKE ポリシー パラメータを設定します。
	show crypto ike domain ipsec	IPSec ドメインの IKE 情報を表示します。

end

コンフィギュレーション モードを終了して、EXEC モードに戻るには、コンフィギュレーション モードで **end** コマンドを使用します。

end

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード コンフィギュレーション モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **Ctrl-Z** を押してもコンフィギュレーション モードを終了できます。

例 次に、名前を **george** に変更する例を示します。**end** コマンドを入力すると、システムはコンフィギュレーション モードを終了し、EXEC モードに戻ります。

```
switch(config)# hostname george
george(config)# end
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	exit	コンフィギュレーション モードを終了します。

enrollment terminal

スイッチ コンソールでの手動のカット アンド ペーストによる証明書登録をイネーブルにするには、信頼点コンフィギュレーション サブモードで **enrollment terminal** コマンドを使用します。デフォルトの証明書登録プロセスに戻すには、コマンドの **no** 形式を使用します。

enrollment terminal

no enrollment terminal

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デフォルトの登録方式は手動のカット アンド ペーストで、MDS スイッチが現時点でサポートしている登録方式は、この方式のみです。

コマンド モード 信頼点コンフィギュレーションサブモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン なし

例 次に、スイッチ コンソールから信頼点登録を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# crypto ca trustpoint admin-ca
switch(config-trustpoint)# enrollment terminal
```

次に、スイッチ コンソールから信頼点登録を破棄する例を示します。

```
switch(config)# crypto ca trustpoint admin-ca
switch(config-trustpoint)# no enrollment terminal
```

関連コマンド	コマンド	説明
	crypto ca authenticate	認証局の証明書を認証します。

exit

コンフィギュレーションモードを終了する、またはアクティブな端末セッションを終了して EXEC を終了するには、**exit** コマンドをシステムプロンプト上で使用します。

exit

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC およびコンフィギュレーションモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	1.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **exit** コマンドを EXEC レベルで使用すると、EXEC モードを終了します。また、**exit** コマンドをコンフィギュレーションレベルで使用すると、特権 EXEC モードに戻ります。**exit** コマンドをインターフェイスコンフィギュレーションモードで使用すると、コンフィギュレーションモードに戻ります。**Ctrl-Z** を押すか、または **end** コマンドをコンフィギュレーションモードで使用することで、EXEC モードに戻ることができます。



(注)

exit コマンドは権限レベル 0 に対応しています。権限レベルが 0 より大きい Authentication, Authorization, Accounting (AAA; 認証、許可、アカウントिंग) 認証を設定する場合、このコマンドはその権限レベルに設定されるコマンドセットに含まれません。

例 次に、Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP) のインターフェイスコンフィギュレーションモードを終了して、インターフェイスコンフィギュレーションモードに戻る例を示します。

```
switch(config-if-vrrp)# exit
switch(config-if)#
```

次に、インターフェイスコンフィギュレーションモードを終了して、コンフィギュレーションモードに戻る例を示します。

```
switch(config-if)# exit
switch(config)#
```

次に、アクティブセッションを終了（ログアウト）する例を示します。

```
switch# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	end	EXEC モードに戻ります。

